エフゲニー・ルミャンツェフ（vc） Evgeny Rumyantsev

チャイコフスキー国際コンクール入賞者連盟会員。

サンクトペテルブルグ音楽協会及び、ゴスコンツェルト所属のソリスト。

2012年より、Art-Brand Management とのコラボレーションに参加。

ロシアの今最も魅力溢れる若手演奏家の一人。

内に秘めた情熱とチェロの音だけで、奥の深い表現力と、溢れるばかりの技巧を同時に奏でる。卓越した芸術性漲る凡庸性で、ソリスト、室内楽奏者としてかつやく中。モスクワ音楽院のこうかいマスタークラスにて、早くからロストロポーヴィッチにその才能を見出される。

1984年モスクワ生まれ。8歳よりチェロを始め、モスクワ音楽院付属音楽学校で音楽教育を受ける。2002〜2010年まで、モスクワ音楽院のロシア人芸術家とともにナタリー・シャコヴスカヤ教授に師事。奨学金を取得し、ヴラディミール・スピヴァコフ主催プログラム、ロストロポーヴィチ財団、”ロシア表現芸術”財団のプログラムに参加。これまでにソロ、室内楽を、ロストロポーヴィチ、デイヴィッド・ゲリンガス、エバーハルド・フィンケ、セルゲイ・ロルドゥギンのマスタークラスを受講。

第13回チャイコフスキー国際音楽コンクール入賞（2007）、ハチャトゥリャン国際チェロコンクール優勝（2010）。

ロシア、フランス、ドイツ、スイス、イタリア、イギリス、オーストリア、ハンガリー、クロアチア、リトアニア、フィンランド、イスラエル、チュニジア、アルジェリア、日本、他、ロシア国内外において意欲的に演奏活動を行う。また、ウーセドム音楽祭、ユベントス音楽祭、ヴラディミール・ホロヴィッツ音楽祭、ロストロポーヴィチ音楽祭、”モスクワの秋”音楽祭、”クヌシェヴィツキーに捧ぐ”、モスクワ国際チェロフェスティバル”Viva Cello "," リヒテル財団音楽祭”他、数々の国際音楽祭に参加。

2010年よりモスクワ音楽院にてき教鞭を取り、ロシア内外でマスタークラスを行う。

2012年シンフォニア・国際コンクール（ヴォルゴグラード）の審査委員として招かれる。

彼のレパートリーは、室内楽、ソロほぼ全域を占める。これまでに、数々のCDのみならず、TV、ラジオの録音に参加。

